

(対象期間：2021/8/16～2021/8/20)

**【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2021年8月20日)**

(ポイント)

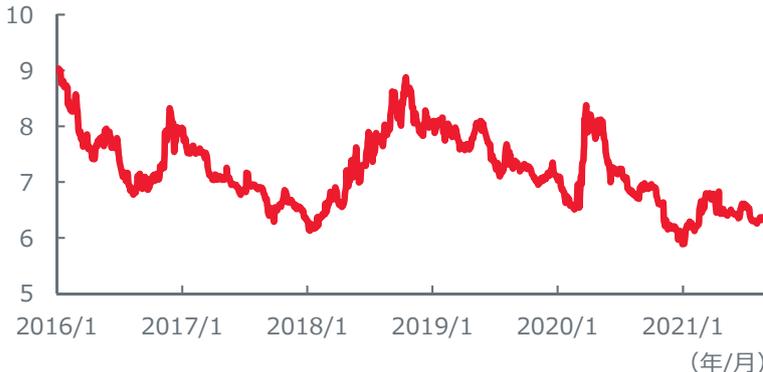

【株式市場】

週初のインドネシア株式市場は、17日の休日を前に薄商いの中、テクノロジー株や大手銀行株に引きずられて下落しました。18日はテクノロジー株等の上値が引き続き重い中で、銀行株等は割安感から買い戻しの動きが見られました。しかし、19日は新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大による景気回復への懸念から世界の株式市場が軟調となり、インドネシア株式市場も急落しました。20日はデジタルバンクへの規制の簡素化等を受けて買い戻しの動きが見られましたが、週間では前週末比下落となりました。

2021/8/13	2021/8/20	変化率
6,139.49	6,030.77	-1.77%

**【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2021年8月20日)**

(%)


【債券市場】

週初、ジョコ大統領は国会で2022年の予算案を提示しました。22年の財政赤字を21年の改定後の財政赤字見通しから改善する計画で、23年に財政赤字をGDP比3%以下に抑える目標を示しました。慎重な財政政策の姿勢を受けて、債券利回りは低下（価格は上昇）しました。19日、インドネシア中央銀行（BI）は市場の予想通り政策金利を据え置き、債券市場は小動きとなりました。しかし、週末にかけて米国のテーパリング（量的緩和の縮小）観測の高まり等を背景に外国人投資家の資金流出が見られ、債券利回りは上昇しました。インドネシア10年国債利回りは前週末比上昇しました。

2021/8/13	2021/8/20	変化幅
6.365	6.370	+0.005

**【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2021年8月20日)**

(円)


【為替市場】

ルピアは上値が重い中、週初は狭いレンジでの推移となりました。その後、中国当局による規制の拡大や、新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大による景気回復への懸念等から、投資家のリスクセンチメントが低下し、アジア通貨全般が弱含みとなりました。さらに、18日の米連邦公開市場委員会（FOMC）議事要旨で、年内にもテーパリングを開始する可能性が示され、週末にかけてルピアは下落しました。ルピアは対米ドル、対円ともに前週末比下落しました。

2021/8/13	2021/8/20	変化率
0.7665	0.7586	-1.03%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供しているため作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャルグループ

210823 (01)